



壬生町政

住民登録人口

	昭和42年9月1日現在	対前月比
総人口	24,545人	54人増
男	12,111人	26人増
女	12,434人	28人増
世帯数	5,215世帯	27世帯増

発行所 栃木県壬生町役場

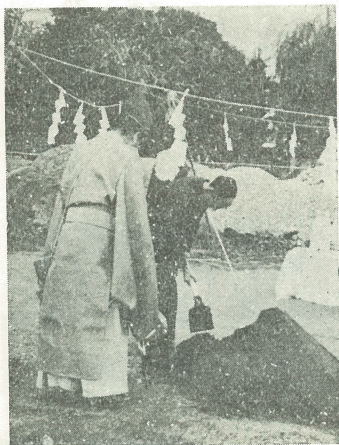
(毎月24日発行)

昭和34年9月30日第三種郵便物認可

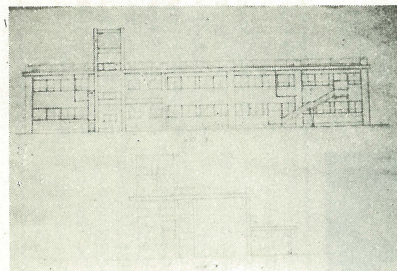
一冊4.70円



改築前の稲葉小



起工式……町長の御入れ



稲葉小の完成見取図

稲葉小学校の建築工事すすむ

稲葉小学校は耐用度調査で、危険校舎と指定されていました。町では改築にふみきり、9月7日起工式を行ない、工事に着手しました。

1. 入札 8社指名競争入札
2. 設計事務所 浦坂建築設計事務所
3. 建設業者 株式会社斎藤組(本社小山市)
4. 総工費 2,830万円
5. 校舎 鉄筋コンクリート2階建 延995㎡ 6教室 管理室、水洗式便所、他
6. 竣工 昭和43年3月10日

町議会議員選挙 投票日十月八日 初の大選挙区

十月十二日任期満了となる本町議会議員選挙は、選挙管理委員会でのつぎのようにきまりました。

十月一日 告示
十月四日 立候補締切
十月八日 投票
定数 三十名 従来通り
今度から大選挙区になりました
今までは壬生、南大飼、稲葉の選挙区があって、投票は自分の選挙区から立候補した人に限られていました。これが廃止され、この候補者に投票してもさしつかえありません。

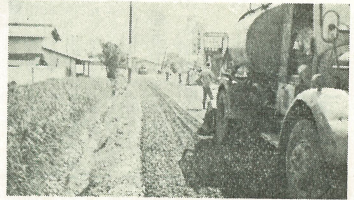
投票区の一部がわかる
国谷と至聖町・六美町の二つの投票区は、大選挙区のため合併、第五投票区となり、東小學校の同じ場所投票します。

延びる舗装町道

町道の舗装工事が順調に進み、別表の通り完成しました。
建設課職員も油にまみれ、働いています。

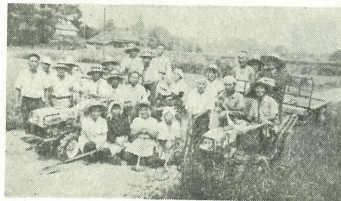
工 事 所	延 長	巾 員	工 事 費
	メートル	メートル	千円
舟町～上通町線	451	4.0	370
仲通町西高野線	351	4.5	386
稲葉小前分割2石線	63	2.0	13.5
稲葉赤御谷停車場上小上車2ヶ	270	2.8	65
安谷塚北町停車場2ヶ	182	5.0	235
安谷塚北町停車場2ヶ	164	5.0	206
安谷塚北町停車場2ヶ	440	4.0	390
安谷塚北町停車場2ヶ	456	2.5	250
安谷塚北町停車場2ヶ	222	7.5	450
安谷塚北町停車場2ヶ	100	2.3	49
壬生合	60	8.0	108
計	2,759		2,522.5

安塚・北小
線の工事



ほほえましい道路 補修

稲葉下馬木
一福成会PTA
四日稲葉小中学校子供育成会の上稲葉下馬木地区子供育成会支部(支部長大場清、副支部長渡辺守司)のPTAでは、会員四十七名がテラー1九台を動員、延長千五百の通学道路を補修、夏休みの校外行事の一環として行った。炎天下に婦人も、シャベルやクワを手に汗にまみれていました。大場会長談、今回が初めてですが、これからもみなさんのご協力を得て、実施したいと思えます。清福奉仕のみさん



上河岸桜堤の 下草刈

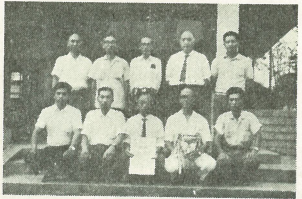
4 Hクラブが奉仕
壬生町4 Hクラブ協議会(長板橋昭夫、男子百十名、女子千九名)では、上河岸桜堤の雑草を刈り取った。桜は十数年前、町民の憩いのために植えられたもの。
しかし近年雑草の繁茂が、むしろ美しく美観を損じ、アメリカシロヒトリも発生、これを知ったクラブ員が、明るく町づくりは清掃からと、一日で見違えるほどきれいになりました。



郡民体育祭

女子バレー十九連勝 水泳・剣道も優勝

第十九回下都賀郡民体育祭は、九月二日岩舟中学校で開催。陸上競技、バレーボール、柔道、剣道等八種目で技を競いました。
女子バレーボールは初大会以来負け知らずの十九連勝。水泳は十七連勝。剣道は十五回大会以来四度目の優勝を飾りました。
入賞種目は次の通りです。
一位 女子バレーボール(十九回)
水泳(十七回)・剣道(四回)
二位 野球・柔道・男子バレーボール



右 十九連勝の女子バレーチーム
上 優勝した剣道チーム

町民の皆様へ

町長 佐藤昌次

私の施設と建設も重要な施策の一環であり、政治方針とします。然しこれが実現の為に、土木行政の土地を所有する東武建設の協力を重点施策として、再三に亘りガラス策として、賑りの会議を重ね相互の協力により地域の開発を促進すると、先んずく東武建設が町と町民各位の協力を要する事と思えますが、これにより買収した地を成用する事

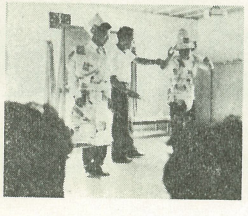


しあわせを呼ぶ赤い羽根に協力を

「赤い羽根共同募金運動」が、壬生町へも本年の目標額として、五十万四千八百円が示されました。
めくられないため、募金の主旨を理解いただきまして、町民こそで協力いたしまして、

青少年の健全育成に協力を

青少年は精神で明朗、青年は誠実で健康をモットーに、町では青少年問題を取り組んでまいりました。おかげで町民みなさんのご協力をえまして、仲良しにみえるべき町になりました。
しかし本町にも「モラル」が進出し、青少年にあたる悪影響が憂慮されています。工部町、壬生



人事消息

- ▽退職
主事 佐々木末め(総務課) 六月三十日付
松本貞十郎(民生課) 七月三十一日付
戸室三男(民生課) 七月三十一日付

最近、酔っぱらう運転、無免許運転による事故が激増しています。特に、幼児・児童の尊い生命が奪われています。このような悲惨な事故をなくすため、次の二つを是非守りましょう。
●運転者には酒を飲ませない。
●酒のみ運転をさせない。



備蓄を誇る消防力

防火体制の強化すむ 消防団へポンプ車購入

みなさんの財産を守るため、本町では貯水槽の建設等、消防力の強化を積極的の推進を進めてまいりました。

七月には消防ポンプ搭載自動車三台を購入、消防団へ引き渡しました。配備は西高野、七ノ石、上田です。費用は約百七十万円。

またこのほど三台の追加購入がまわりました。本町の消防能力がさらに強化されます。

防火管理者講習会

資格を必要とする方は必ず受講して、安全をはかりましょう。

一 受講者 危険物取扱者、学校病院・事業場・多数の人が出入り又は勤務するところ。
二 日時 十月十二・十三午前九時
三 場所 壬生町中央公民館
四 受講料 無料
五 申込 ただし教費二百八十円
六 携行品 受講票、筆記具、昼食
七 修了証を所定の全課程を修了した方にさしあげます。
詳細は民生課へ

東武団地の分譲について

私が町長に就任以来町と町民が協力した開発地を何と町民の為に町発展のために利用したいとすればならぬと考えてまいりました。その具体策としては、

1. 町の開発に協力した地主の皆様さんに町として出来る限り協力にむくたい。
2. 町民に積極的に地権開発に参加して頂く。
3. 広く町民参加の呼びかけとする。

この基本的な考えに立って東武鉄道の協力を要請したところ今回第二次分譲に際し約一〇〇坪を町民に優先分譲となつたのであります。価格は一割から一割五分引の協力を得たのです。

危険物取扱主任者試験

本年度第二回危険物取扱主任者試験が実施されます。受験希望者はお申し込みください。

引揚者等へ特別交付金を支給

昭和四十二年八月一日の法律制定で、左に掲げられる方に、特別交付金が支給されますが、該当者はおもれなく請求してください。

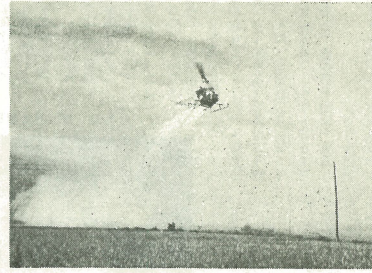
戦没者の父母等に特別給付金の支給

昭和十二年七月以降に戦没された方の父母、又は祖父母で、昭和四十二年四月一日現在、扶助料等を受けていて、戦没された方以外に子も孫もない方に（養子された方も該当する）、特別給付金（十千円の単位）が支給されます。

該当されると思われる方は、民生課へ。

詳細は民生課へ

大成功の農薬航空散布



近年水稲の葉巻病、綿葉枯病が大発生し、減収の最大原因でした。これはツマゴロコバ、イヒメトビウカが媒介しています。この害虫を撲滅するために、壬生町農協が事業主体となって、農業の一斉航空散布を実施しました。

各地区別殺虫効果（地上の個人散布は50%です）

地区名	ツマゴロコバ		イヒメトビウカ		備考
	散布前	散布後	散布前	散布後	
壬生	248	33	86.7	80	3基地平均
稲葉	171	17	90.1	63	4基地平均
南犬飼	291	31	89.3	430	3基地平均
計	710	81	90.0	1,256	222

渡辺トミさん入賞

新鮮なトマトを含んだ野菜、何時でも食卓にのせられる農家はほとんどありません。

家庭菜園コンクール
入賞者 渡辺トミさん



タバコは町で買えます

みなさんの買ったタバコの消費税が町の収入となります。

趣味の盆栽講座

十月十五日十時～三時
場所 壬生町中央公民館
講師 宇部富市 池田昌弘氏
受講料 無料
参加者はなるべく自分の鉢を持ち寄ってください。直接指導が受けられます。



表彰をうける渡辺さん

表影をうける渡辺さん

犬の登録と狂犬病 予防注射のお知らせ

本年度第二回秋狂犬病予防注射を、左記より実施しますから犬を飼っている方は、最寄りの会場におつれ下さい。
登録料 三百円
注射手数料 二百三十円
(臨時の場合はこの費用では出ません)

- ◇日時及び会場
十月十八日 九三〇～一二三〇 壬生町役場、栃木フラスチックス前
- ◇ 一、〇〇～一、〇〇〇 藤井小学校、庭園谷駅前
- ◇ 一、一〇〇～一、三〇〇 玩具園地給食センター裏
- ◇ 十月十九日 九三〇～一二三〇 稲葉地区公民館、羽生田、藤原後給
- ◇ ツ石、後藤義雄宅
- ◇ 和田、安納正雄宅
- ◇ 十月二十四日 九三〇～一二三〇 栃本行政監察局

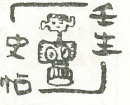
十月の納税 国保税 第四期分 町県民税 第三期分

電話(壬生局)三四・二〇九
電話(壬生局)四七七
壬生町役場住民課

行政相談週間

十月十六日(二十二日) 役所の仕事に「不満がありませんか」
退職、年金、住宅、道路、郵便登記、労災補償、生活保護、保健衛生、公社、公園、公庫等、どんなことでも役所に関係のあることでお困りのことはありませんか。
このような場合、なんでも相談のてくれるのが、「行政相談」です。
ご遠慮なく相談ください。
(壬生町では毎月第一火曜日、中央公民館で相談所を開設しています。)

宇都宮市旭町一三、四三二 行政相談委員 藤原、壬生町大字藤井、三七〇番地
電話(壬生局)四七七
壬生町役場住民課
電話(壬生局)三四・二〇九



維新前後の壬生

安塚の戦
前回は記述した筑波山事件やそれ以上の大事件が国内に続発したこの因事多難の時、徳川幕府は長州征伐に失敗して、遂に十五代将軍慶喜は土佐藩の建議をいれて慶三年十月十四日大政奉還した。しかし幕臣の中には明治政府の太極が薩長二藩が劣節を擁して専断をわめ旧幕府の存在を無感しと大いに怒り武力反抗したが、つい江戸では慶喜の恭順の意に反して上野彰義隊の反乱があり、その前後に争乱が関東東北海道に及び所謂戊申の戦となった。



佐藤春儀之墓 (常楽寺)

安塚の戦その一環で鎮勢を盛り返そうとす財軍(赤軍)の大將大島圭介の率いる一隊と之を討伐する官軍と安塚の交戦を扱んで激突したのである。
戦將大島圭介は会津藩を中心とする奥羽同盟を強大にすべく明治元年四月十九日宇都宮城を落し南下して壬生城を落とし、かゝり現かつていた。
当時壬生藩では或は尊王或は佐藩と藩論二派に分れたが、士氣も強わらず既れは壬生の大勢に従うといった状況下、時に東軍の説客来り佐藩に組するよう説く次第であった。
一方討伐のため壬生に入城した官軍は因州藩土州藩を主力として、吹上藩や信州松本藩土州忍藩等が加わっていた。この因州藩には「宮元年四月十九日宇都宮城を落し南下して壬生城を落とし、かゝり現かつていた。」
当時壬生藩では或は尊王或は佐藩と藩論二派に分れたが、士氣も強わらず既れは壬生の大勢に従うといった状況下、時に東軍の説客来り佐藩に組するよう説く次第であった。
一方討伐のため壬生に入城した官軍は因州藩土州藩を主力として、吹上藩や信州松本藩土州忍藩等が加わっていた。この因州藩には「宮元年四月十九日宇都宮城を落し南下して壬生城を落とし、かゝり現かつていた。」
当時壬生藩では或は尊王或は佐藩と藩論二派に分れたが、士氣も強わらず既れは壬生の大勢に従うといった状況下、時に東軍の説客来り佐藩に組するよう説く次第であった。

大石利左衛門、同小松武長、同杉田一善、同武市権兵衛、同半田稻吉、同国吉栄之進、信州松本藩松次重次、同尾花忠兵衛の十四志士が葬られており、常楽寺には同じく官修墓地として、忍藩佐藤市郎春儀の墓がある。戦死者の中には壬生まで送られてから死したものが、現地で戦死したものが、現地にも何人かの墓が建てられている。(この稿につづく) 福田